

大阪大学グローバルCOEプログラム「コンフリクトの人文科学国際研究教育拠点」
「コンフリクトの人文科学」セミナー 第36回

暴力とともにあった日々：

「和平条約」10年後の北アイルランドから

講師：酒井 朋子 （大阪大学大学院人間科学研究科 GCOE 特任助教）

要旨：

長期の紛争において、人びとは日常を暴力とともに生きる。親子関係、仕事、恋愛、子育て、友達づきあい。子どもから大人への成長や老い。そのいずれもが、暴力と切り離しては経験されえないのだ。逆に暴力や紛争の展開そのものも、日常のネットワークやインタラクションに深く根を下ろしている。こうした状況のなか、人びとの社会観・歴史観・暴力観は、日常の感情や記憶と相互に密接な関係を取りながら形成される。

数十年にわたって継続した北アイルランドの紛争は、1998年に一定の区切りを迎えた。その後10年の時を経て、暴力のさなかにあった日々暮らしを、そして紛争とともにあった自分の生を人びとがどのように語るのかを、本報告では見ていきたい。

講師紹介：

2003年京都大学大学院農学研究科修士課程修了。2005年秋より英国ブリストル大学社会学部に留学。学位論文“Narrating Memory and Troubled lives in Northern Ireland”で2009年6月に同大学のPhD審査を通過。専門は物語り論、戦争・紛争および政治変動の記憶。主要論文に、“Trans-Generational Memory: Narratives of World Wars in Post-Conflict Northern Ireland” (*Sociological Research Online*, 14:5, 2009)、「<虐げられた物語>としての第一次世界大戦——1970年代のアルスター・ロイヤリストにおける」（『ソシオロジ』150:1, 2005）など。

日時：2009年11月13日（金） 17:00 ～ 19:00

会場：大阪大学大学院人間科学研究科（吹田キャンパス） 東館2階 ユメヌホール （参加無料）

東館は、万博外周道路側の別館です。大阪大学大学院人間科学研究科（吹田キャンパス）への交通アクセスは<http://www.hus.osaka-u.ac.jp>をご参照ください。

お問い合わせ先：

大阪大学大学院人間科学研究科人類学研究室

e-mail: globalra@hus.osaka-u.ac.jp

電話 06-6879-8085

06-6877-5111

